

当社取締役会の実効性評価に関する評価結果の概要について

OSJBホールディングス株式会社

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値の向上を図ることを目的として、当社の「コーポレートガバナンス基本方針」に基づき、2019年度における当社取締役会の実効性について分析・評価を行いましたので、以下の通り結果の概要を公表いたします。

1. 分析・評価の方法

自己評価・分析につきましては、外部機関の助言を得ながら以下の方法で行いました。

2020年3月に取締役会の構成員である全ての取締役・監査役を対象に、外部機関に直接回答する方法でアンケートを実施いたしました。外部機関からの集計結果の報告を踏まえたうえ、2020年5月の定時取締役会において、その内容を分析・審議し、取締役会の実効性確保の状況を確認いたしました。併せて今回の結果を踏まえた対応について、取締役会において審議及び確認を行いました。

2. 評価項目

全ての取締役・監査役に対するアンケート（5段階評価の選択式設問および記述式設問。合計40問。）。設問はコーポレートガバナンス・コードの改訂内容等を踏まえつつ、外部機関の助言を得ながら作成。

- I. 取締役会の構成
- II. 取締役会の運営
- III. 取締役会の議論
- IV. 取締役会のモニタリング機能
- V. 社外取締役のパフォーマンス
- VI. 取締役・監査役に対する支援体制
- VII. トレーニング
- VIII. 株主（投資家）との対話
- IX. 取締役自身の取組み
- X. 総括

3. 分析・評価結果の概要

アンケートの結果等から、当社取締役会は、経験やバックグラウンド等の多様性を有し、審議の活性化を図るべく適切な運営スケジュールが確保されていることや、前年抽出された課題を踏まえた付議基準の更なる見直しや投資戦略に関する議論を一層充実させること等の取組みにより、2019年度における当社取締役会についても概ね実効性が確保されていることを確認しました。また、同時に今後も更な

る改善を要する事項について活発な議論を行い、以下の点について課題を認識いたしました。

- 1) 中長期的な経営戦略に関する議論の更なる充実
- 2) 取締役会の最高経営責任者（CEO）等の後継者育成計画の運用への関与
- 3) 客観性・透明性のある CEO の選解任基準策定に関する主体的な関与
- 4) 社外役員に対する事前の議案の理解を深める機会と環境整備に関する一層の充実

4. 今後の対応

当社取締役会は、今回の評価結果を踏まえ、取締役会の実効性の更なる向上を図るため、以下の対応に注力してまいります。

- 1) 機関設計の見直しを実施することにあわせ、付議基準と事業会社による報告事項を再度見直す等により企業価値向上に資する議論時間を確保すると共に、中長期的な経営戦略の審議の充実を図ります。
- 2) 指名・報酬諮問委員会において策定された後継者育成計画が十分機能するよう監督します。
- 3) 最高経営責任者の選解任について、指名・報酬諮問委員会を活用し、客観的・透明性のある基準を策定します。
- 4) 社外取締役に対し、審議事項に関する資料について論点を整理したうえで早期に提出すべく努め、議論が充実するための環境を整備します。また、引き続き社外取締役の当社理解と議論充実のため、社外役員間の意見交換会・機関投資家等のステークホルダーとの面談機会を確保します。

以 上